

第二講 ペルシア戦争後のアテナイ帝国形成

レポート課題：中世ヨーロッパにおける帝国の特徴について論ぜよ。

解説：中世帝国における封建的人的つながり。官僚制の欠如。本国と植民地という構造の欠如。

西洋における古代帝国との比較。最後まで都市国家の枠組みの残存。都市による都市の支配。

年表

- 480 サラミスの海戦
- 479 プラタイアの戦い／ミュカレーの海戦
- 478 アテナイの再建と市壁の再構築／パウサニアスの遠征
- 478/77 パウサニアス事件／デロス同盟結成
- 476/75 キモンのトラキア遠征／エイオン攻略
- 475 カリュストス攻略
- 467/66 ナクソスの反乱と降伏／エウリュメドンの戦い
- 465 タソスの反乱（～462）／スパルタの大地震／メッセニアのヘイロタイ反乱（～459）／クセルクセスの暗殺とアルタクセルクセスの即位
- 462 アテナイ人部隊の退去→アテナイの反スパルタ化
- 462/61 エピアルテスの暗殺／ペリクレスの台頭／キモンの追放
- 459 イナロスの反乱→アテナイのエジプト遠征（（～454）／メガラ、アテナイと同盟→第一次ペロポネソス戦争（～445）
- 455/54 エジプト遠征軍壊滅→同盟金庫のアテナイ移設
- 451/50 アテナイの市民権法／5年間平和条約
- 450/49 キモンのキプロス遠征とキモンの死
- 449/48 カリアスの平和？
- 447 ボイオティアの反乱と休戦条約
- 446 エウボイアの反乱とスパルタ軍のアッティカ侵攻
- 446/45 三十年の平和条約（～431）

- 443 メレシアスの子トゥキュディデスの追放
- 440/39 サモスの反乱／ビュザンティオンの反乱
- 437/36 アンピポリス建設
- 435 ケルキュラとコリントスの紛争→レウキンメの海戦
- 433 ケルキュラとアテナイの同盟／シュボタの海戦
- 432 ポテイダイアの反乱（～429）／ペロポネソス同盟会議→開戦決定
- 431 テーバイによるプラタイア攻撃／ペロポネソス同盟軍、アッティカ侵攻／アテナイ艦隊、ペロポネソス沿岸攻撃→ペロポネソス戦争勃発（～404）

古代ギリシア史における「帝国」の実態：

外交的影響力を利用することで帝国を運用

説得（*peithó*）と強制（*anáγκē*）

説得：使節の派遣・交渉

名誉領事（*próxenos*）

党派対立を利用（民主派は親アテナイ的、寡頭派は親スパルタ的）

階層対立を利用（貧民層は親アテナイ的、富裕者は親スパルタ的）

親アテナイ派（*Attikizóntes*）・親スパルタ派（*lakōnistés*）を利用

強制：司法への干渉

親アテナイ派政権・親スパルタ派政権の樹立

民主政・寡頭政の樹立

駐留部隊の導入

在外官吏による監視

艦隊や軍の派遣

賓客関係（*xenía*）・友情関係（*philía*）を利用

有力者間の関係・貴族制時代の慣行